

「Getting the Information ～ Let's Make Full Use of English Questions! ～」

本単元で育成する資質・能力

判断力、表現力

- 1 日 時 令和2年2月6日（木） 3時間目
- 2 学年・学級 1年A組（男子15人 女子9人 計24人）
- 3 単元名 My Project 3 「知りたい情報を引き出そう」
(Sunshine English Course 1 開隆堂)

4 本単元を指導するにあたって

本単元は、既習疑問文とその答え方を復習して、最終的にはタスク活動ができるようにするという内容である。生徒に架空人物を設定させ、既習事項を基に、適切な疑問詞を使用して、その人物に関する情報を引き出すためのやりとりを生徒に主体的に考えさせ、取り組ませるには適した単元である。

1年次のMy Project 2で「3単現、人称代名詞、疑問詞、助動詞 can を総合的に使用して他者を紹介する」ことを受けて、このMy Project 3では他者から情報を収集させて英文で表現することに発展させる。

中学校学習指導要領解説外国語編（平成29年）には、第2章第2節内容（1）〔思考力、判断力、表現力等〕（3）言語活動及び言語の働きに関する事項 エ 話すこと〔やり取り〕（イ）「日常的な話題について、伝えようとする内容を整理し、自分で作成したメモなどを活用しながら相手と口頭で伝えあう活動。」とある。指導者主導ではなく、ペア活動を有効に利用して、相手から必要な情報を引き出す場面を設定し、活動の度にフィードバックをして、質の高いやりとりを目指す。

本校の研究テーマは『「主体的に学ぶ生徒を育成する授業づくり」～『学習の振り返り』を通して学びを深める生徒の育成～』である。本時の中で、振り返る場面を3回設定している。一度目の導入時では、ペアでの既習文法を活用しての英問英答でのやり取りを行う。疑問詞を的確に使用し、相手から情報を引き出したり、相手へ正確に返答したりする姿を目指す。二度目の展開時では、ペア交流で時間設定をして複数回行い、終了する度に活動の様子から拾い上げた疑問点や困ったことを全体で共有する。その際に、指導者が安易に解答を示すのではなく、生徒から解答を引き出すような問いかけをする。思考したことを再挑戦させ、表現の幅を広げさせる手立てを行う。三度目の終末時では、「自分の思考が深まったこと」というテーマで記述させる。自分自身の成果を確認することで、表現の能力が向上したという実感を持たせたい。本時の授業を通して、英語の表現力を身に付けさせ、今後の学習につなげたい。

【生徒の主体的な学びを促すポイント】

- 相手が紹介したい架空人物について理解するために、適切な疑問詞を選択させ質問させる。
- 相手に紹介したい架空人物を正しく伝えさせるために、質問に正確に応答させる。
- 相手からの情報についてメモを取り、その紹介文を正しく書かせる。

【基礎・基本の定着】

（1）習得すべき基礎・基本について

- これまでの既習事項を理解している。
- お互いに正確に情報を伝えるために、正しい発音や強調を意識して話す。
- 紹介したい架空人物についての情報を正しくやり取りし、取得した情報を英語で書く。

(2) 定着への手立て

- 帯学習で英問英答を実施し、口頭でのやり取りをさせる。
- 英問英答の仕方について、指導者が生徒一人一人をチェックする。
- 授業中の活動やワークシート、日々の宿題等を通して、構文を定着させる。

5 単元の目標

- 疑問文の応答や疑問詞の使い方を復習して、運用する。
- 相手から情報を引き出すために適切な疑問詞を用いて質問できる。
- 相手に情報を伝えるために適切に回答できる。

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
①積極的に英問英答をしようとしている。	①必要な情報を引き出したり伝えたりするための正確な英問英答ができる。	①相手との英問英答を正確に聞き取ることができる。	①既習事項の用法を理解している。

7 本単元を通して伸ばしたい資質・能力

※塩町中学校区では、小中9年間で身に付けさせたい9つの能力を定めている。(重点◎)

塩町中学校区9能力					
① 情報活用能力 (調べてまとめる力)		④判断力 (自分で決める力)	○	⑦体力・継続力 (ねばり強くやりきる力)	
② 発見力 (見つける力)		⑤表現力 (伝える力)	◎	⑧人間関係形成能力 (人とかかわる力)	
③ 思考力 (考える力)		⑥将来設計能力 (なりたい自分を描く力)		⑨生活力 (学んだ事を生かす力)	

④判断力 …… 英問英答のための適切な表現を選択することができる。

⑤表現力 …… 自分が知りたい情報を相手から正確に引き出したり、相手へ自分の情報を正確に伝えたりするために、正しく英問英答をすることができる。

8 指導と評価の計画 (全3時間)

次	学習内容 (時数)	評価					
		関	表	理	知	評価規準 (評価方法)	資質・能力

1	帯英問英答（ペア活動） ○本単元のパフォーマンス課題を知る。 「Getting the Information ～ Let' s Make Full Use of English Questions! ～」 紹介したい架空人物を設定し、これまで学習したことを活用して、英語で友達から情報を引き出したり、友達へ自分の情報を伝えたりしましょう。どんな表現を使うかを正しく判断して、正確にやり取りをしましょう。 ○話す力の評価指標を知る。												
	評価指標「話す力」（ルーブリック） <table><tr><td>A (素晴らしい)</td><td>・ 相手から情報を引き出すための質問や、相手に情報を提供するための応答を、一問一答で終わるのではなく、追加質問や応答を加えて正しくやり取りしている。</td></tr><tr><td>B (良い)</td><td>・ 相手から情報を引き出すための英問や、相手へ情報を提供するための英答を正確にしている。</td></tr><tr><td>C</td><td>・ Bに達しない。</td></tr></table>	A (素晴らしい)	・ 相手から情報を引き出すための質問や、相手に情報を提供するための応答を、一問一答で終わるのではなく、追加質問や応答を加えて正しくやり取りしている。	B (良い)	・ 相手から情報を引き出すための英問や、相手へ情報を提供するための英答を正確にしている。	C	・ Bに達しない。						
	A (素晴らしい)	・ 相手から情報を引き出すための質問や、相手に情報を提供するための応答を、一問一答で終わるのではなく、追加質問や応答を加えて正しくやり取りしている。											
B (良い)	・ 相手から情報を引き出すための英問や、相手へ情報を提供するための英答を正確にしている。												
C	・ Bに達しない。												
○教科書の例文を読んで、その例文への質問文を考える。 ○教科書に掲載されている疑問文と応答文を口頭練習する。 (1)	○			○	エ① 活動の観察 ア① 活動の観察	④判断力（教科書の設問）							
2	帯英問英答（ペア活動） ○前時の復習として、教科書に掲載されている疑問文と応答文を口頭練習する。 ○疑問詞のさらなる定着を図るためのワークシートに取り組む。 ○『クイックQ＆A』をペアやルールを変えながら複数回行う。 ○活動用ワークシートを使用し、架空人物の設定（氏名、職業、年齢、住所、身長、好物）や、その人物を描く。 (1)	○			○	後日テスト ア① 活動の観察 エ① ワークシート ウ① 活動の観察	⑤表現力（教科書の設問）						
	帯英問英答（ペア活動） ○架空人物の紹介を行う。		◎			イ① 活動の観察、 ワークシート	⑤表現力（活動の観察、ワークシート、後日パフォーマンスステ						

	○やり取りを全体の前で発表する。 (1)		○			イ① 活動の観察	スト)
--	-------------------------	--	---	--	--	-------------	-----

9 本時の展開

(1) 本時の目標

情報収集のために正確に英問英答できる。

(2) 観点別評価規準

イ①必要な情報を引き出したり伝えたりするための正確な英問英答ができる。

(3) 準備物

ワークシート，電子黒板，i-Pad

(4) 学習の展開

	学習活動	主な発問・指示 (○) 予想される生徒の反応 (☆) 「C」と判断される生徒への手だて (◆) 指導上の留意点 (●)	評価規準 【資質・能力】 (評価方法)
導入	○指名された生徒によるあいさつ ○ペア活動【1 Question & More Than 2 Answers】 (2回)	●適切な声，正しい発音で応答するよう促すことで， 本時の英問英答の活動につなげる。 ◆発音等で詰まった場合，側に寄って支援する。 ☆S: Good morning. SS: Good morning. How are you? I'm fine. What's the date today? It's February 6 th . What day is it today? It's Thursday. What time is it now? It's 10:45. How's the weather today? It's sunny. ○Let's do conversation with this worksheet. Make pair with your friend next to you. First, do janken. Winner is questions. Loser is to answer. When you finish reading, change your part. ●Q & Aシートを用い，英問英答を行う。1度目は， 応答する側は，2文以上で伝える。2度目は，応答 する側が英問するという指示をし，やり取りのレベ ルアップを図る。 ◆側に寄り，単語等を口頭で支援する。 振り返り① 《既習事項を振り返らせる》	
展開	○本時のめあて	○This is Today's Goal.	

自分や相手が紹介したい人物について、正しく英問英答して、必要な情報を伝え合うことができる。

○「話す力」の評価指標の再確認

○今日は、事前に作成している架空人物について、描いてきたイラストを見せながら、お互いに質問したり答えたりして、その人物についての紹介をします。今日の評価について、確認しましょう。Please look at this monitor.

評価指標「話す力」(ループリック)

A (素晴らしい)	・ 英語で一問一答形式で終わるのではなく、追加質問や追加応答を正確にやり取りすることができる。
B (良い)	・ 英語で一問一答形式で正確にやり取りすることができる。
C	・ Bに達しない。

○ J T E と A L T の A 評価と B 評価のモデルのやり取り

●確認させることで、高い目標を持たせる。
☆A評価を目指して頑張ろう。
☆正しい疑問詞を使えるかなあ。正しく答えられるかなあ。
☆いろんな人の作成した架空人物を知りたいなあ。
☆上手くできるか心配だなあ。

○We'll show you our two models. At first, Shelbi asks questions, and I answer.

Q: Who is she?	A: She is Yoshida Yuri.
Q: What is her job?	A: She has no job.
Q: How old is she?	A: She is 1 year old.
Q: Where does she live?	A: She lives in Miyoshi.
Q: How tall is she?	A: She is 80 centimeters tall.
Q: What does she like?	A: She likes curry.

○このモデルだと、評価は何か。理由も合わせて考えてみよう。
☆Bだと思います。1つの質問に対して、1つの解答しかないから。
●J T E と A L T とのやり取りの内容を理解させるために、スライドを使って検証する。

○Next, Stephen asks questions, I answer.

Q: Who is he?	A: He is Yoshida Yuito. He is my son.
Q: What is his job?	A: He is a kindergarten student. His class is Ume A.
Q: How old is he?	A: He is 4 years old. His birthday is July 19th.
Q: Where does he live?	A: He lives in Miyoshi. But he was born in Mihara.
Q: How tall is he?	A: He is 105 centimeters tall. He is the tallest in his class.
Q: What does he like?	A: He likes ramen. But he doesn't like vegetables.

	○ペア活動	○このモデルだとどうかな。 ☆Aだと思います。1つの質問に対して、2つの解答があるから。 ●J T EとA L Tとのやり取りの内容を理解させるために、スライドを使って検証する。 ○From now, talk with your partner. I'll give you 2 minutes. Ready go! ◆側に寄り、単語の発音やアクセント等について支援する。 ○Time is up. Stop talking with your partner. Look at me. やり取りをしてみて、何か困ったことや分からなかったことはありますか。 ☆「○○」を英語で表現するためには、どうすればいいのか分からなかった。 ☆ドキドキして言葉が出なかった。 ○Change your partner. I'll give you 3 minutes. Ready go! ●計3回、実践（やり取り）と全体共有（振り返り）を繰り返すことで、より良い英問英答に進化させる。 振り返り②	イ①必要な情報を引き出したり伝えたりするための正確な英問英答ができる。 【表現力】 （活動の様子、後日パフォーマンステスト）
	《B評価例》 Q: Who is he? A: He is Yoshida Yosuke Q: What is his job? A: He is a doctor. Q: How old is he? A: He is twenty-eight years old. Q: Where does he live? A: He lives in Osaka. Q: How tall is he? A: He is 180 centimeters tall. Q: What does he like? A: He likes takoyaki		
	《A評価例》 Q: Who is she? A: She is Yoshida Yuko. She is my sister. Q: What is her job? A: She is an idol. She's a member of AKB48. Q: How old is she? A: She is seventeen years old. She's the youngest in it. Q: Where does she live? A: She lives in Tokyo. She lives with her aunt. Q: How tall is she? A: She is 155 centimeters tall. She is small. Q: What does she like? A: She likes short cakes. She likes strawberries very much.		

《次のやり取りをより良くするために、生徒から課題とその改善方法を出させ、全体で共有する。》

	○ペア発表	○Let's share your idea. Please tell us about it. Please do performance in front of everyone. ●既に行ったペアを指名するのではなく、意図的に指名し、即興で発表させる。 ●i-Pad で生徒が描いたイラストを撮影し、電子黒板に投影することで、聴衆者の内容理解を支援する。 ◆返答に困っていたり、追加質問を促したりするなどして、やり取りの内容を充実させるよう支援する。	
まとめ	○振り返り ○宿題，次時の確認	振り返り③ 《本時の内容について、「自分の思考が深まったこと」を、『振り返りシート』に記述させる》 ○Please write an evaluation sheet. Today's topic is No.2. ☆アドリブで対応することができました。ALTの先生とのやり取りに役立てようと思います。 ☆言いたいことをちゃんと伝えられなかったので、頭の中でしっかり整理して伝えなければならないことを再確認しました。 ☆友達とのやり取りから、新たな答え方や答えを知りました。参考にして、今後のやり取りに生かしたいです。 ☆答えるだけでなく、相手に質問をすることができました。相手のことをよく知るためにも、さらなる質問をすることの大切さがわかりました。 ☆2文以上で答えることができました。様々なパターンで答えられるよう、Eノートや授業開始直後のやり取りで練習したりします。 ○Please collect your evaluation sheet from the back. Today's homework is to write sentences in English about your friend's character. Try writing more than 6 sentences. Tomorrow, ALTs will check your sentences.	

(5) 板書計画

学習のめあて

作成した架空人物について，正しく英問英答して，必要な情報を伝え合うことができる。

Feb. 6th

Today's Q&A 1~5 Q: Shelbi A: 6~10 Q: Stephen A:

(Thu)

10:45 sunny

1. Q&A Worksheet
2. Model Exchange
3. Pair Work
4. Performance
5. Evaluation

※机間指導をしているときに，良い点，気づいた点等があれば，板書に示して，生徒にポイントを知らせる